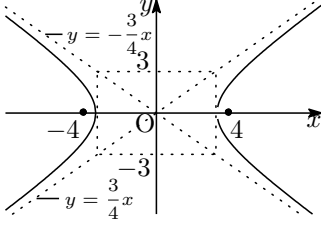
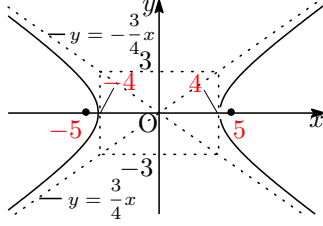
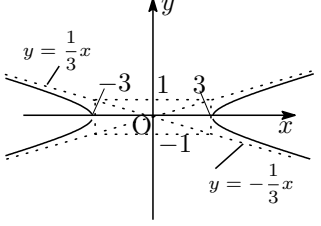
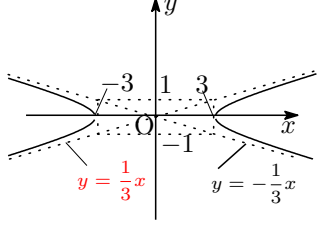


「基礎数学」6章 正誤表 (2017年6月18日)

第1刷の正誤表

頁	場所	誤	正
p. 174	例 6.3 の上から 4 行目	より $P\left(\frac{13}{5}, \frac{4}{5}\right)$ 線分 ...	より $P\left(\frac{13}{5}, \frac{4}{5}\right)$. 線分 ...
p. 178	上から 8 行目	$\dots x-k(=1\cdot x-0\cdot y+(-k))$	$\dots x-k(=1\cdot x+0\cdot y+(-k))$
p. 192	例 6.10 の図中		
p. 194	上から 1 行目	図のように $x = -p$...	図のように直線 $l: x = -p$...
p. 200	下から 8 行目	(1) 不等式 $y > f(x)$ が表す領域は関数 $y = f(x)$...	(1) 不等式 $y > f(x)$ が表す領域は曲線 $y = f(x)$...
p. 200	下から 6 行目	(2) 不等式 $y < f(x)$ が表す領域は関数 $y = f(x)$...	(2) 不等式 $y < f(x)$ が表す領域は曲線 $y = f(x)$...
p. 236	6.19 の (1) の図		
p. 237	6.28 (2)	$\begin{cases} -1 < k < 1 \text{ であるとき共有点は 2 個} \\ k = \pm 1 \text{ であるとき共有点は 1 個} \\ k < -1, k > 1 \text{ であるとき共有点なし} \end{cases}$	$\begin{cases} -1 < k < -\frac{1}{\sqrt{2}} \text{ であるとき共有点は 2 個} \\ -\frac{1}{\sqrt{2}} < k < \frac{1}{\sqrt{2}} \text{ であるとき共有点は 2 個} \\ \frac{1}{\sqrt{2}} < k < 1 \text{ であるとき共有点は 2 個} \\ k = \pm 1, \pm \frac{1}{\sqrt{2}} \text{ であるとき共有点は 1 個} \\ k < -1, k > 1 \text{ であるとき共有点なし} \end{cases}$
p. 239	17 の答え	$\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{25} = 1$	楕円 $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{25} = 1$

第2刷の正誤表

頁	場所	誤	正
p. 201	上から 2 行目	... というただしかきは必ず書かなければならない.	... という但し書きは必ず書かなければならない.